

「東北地方における観光の新機軸」

東京、大阪、名古屋といった巨大都市を含む地域の宿泊客は、近年、堅調に推移しているものの、地方域の宿泊客は伸び悩む傾向が見られます。一方、外国人宿泊者（インバウンド旅行者）は全国的に増加しており、彼らの受け入れが交流人口増の大きなカギになっています。しかしながら、東北地方は、外国人旅行者の絶対数・割合が共に低く、国内旅行者の確保も同時に求められています。今回のパネル・ディスカッションでは、難しい問題に直面にしている東北地方の観光に焦点をあて、その新たな方向性について議論を交わします。

コーディネータ：宮原 育子（宮城学院女子大学）

パネリスト：山形県の取り組み 村上 朋子（山形県観光交流局観光立県推進課）
旅行商品 佐々木心也（H. I. S.）
教育旅行 初澤 敏夫（福島大学）
大学の取り組み 山田 浩久（山形大学）

日 時：2017年2月19日（日）13:00-15:00

場 所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育棟2号館211教室

参加費：無料

主 催：日本地理学会地域連携活動グループ

共 催：山形大学 GIS 利活用研究所

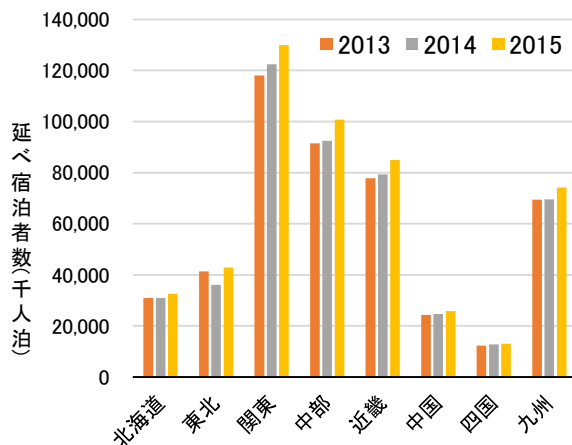


図1 地域別延べ宿泊者数の推移

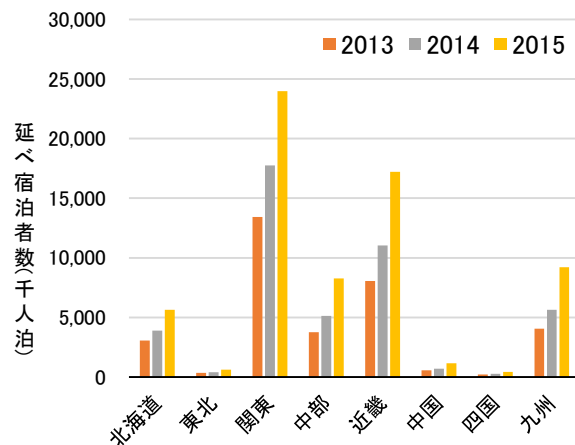


図2 地域別延べ外国人宿泊者数の推移

参加ご希望の方は下記の E-mail アドレスから山田宛に氏名、人数、連絡先をお知らせ下さい。

山田 浩久 (HIROHISA Yamada)
山形大学 人文学部 人間文化学科
Tel 023-628-4246
E-Mail: hyamada@human.kj.yamagata-u.ac.jp

